

きたい〜子宮頸がんとHPVワクチン

九月 緊急時に適切な医療を受けるためにも理解したい〜新型コロナウィルス感染症と救急医療

十月 特別なことじゃないひきこもり〜新しい生き方を探して
十一月 自分らしくいきいき暮らすために〜ウオーキング+αで健康増進

十二月 女性に多いのはなぜ?〜手指の痛み

一月 それぞれに治療法ある〜尿失禁

二月 一人で悩まず相談を〜円形脱毛症とその治療

三月 命のリレーの最後のバトン臓器移植医療〜大切な臓器提供意思表示

熊本県医療人育成総合会議の開催

人類の活動に起因する地球温暖化の抑制が世界的なテーマとなっており、日本も、二酸化炭素排出量を、二〇三〇年度には二〇一三年度比で四六%削減し、二〇五〇年には増加量ゼロ(「カーボンニュートラル」)の社会に

することを表明しました。

コロナ禍後の社会では、エネルギー源の変更と資源・エネルギー使用量の削減が喫緊の課題として表面化し、医療の現場も医学教育の現場も対応が強制されていくと思われ、これまでの医療や医学教育において事実上唯一無二の価値であった、人命を守り生活の質(QOL)を高めるための活動の最速化が、今後は、資源・エネルギー使用量削減との間でバランスをとることが要請されるでしょう。医療人に突き付けられた課題は重く、難しく、難局の現状をそれぞれの立場で確認し、医療人育成に役立てたいと考えています。

実行委員・片淵秀隆(委員長)、池田

洋一郎、石塚洋一、尾池雄一、大谷 順、河野文夫、坂上拓郎、高野 定、難波七海、古川 昇、松下修三、山本哲郎、吉澤和宏

事務局・吉本昭彦、高本昭一、松村若菜

協力 高橋酒造株式会社、一般財団法人化学及血清療法研究所

後援 熊本日日新聞社

実行委員会にて会議の内容の詳細を立案

「第十三回熊本県医療人育成総合会議」の実施概要は次のとおりである。

実施概要



熊本県医療人育成総合会議

テーマ「カーボンニュートラル社会と医療人育成〜資源消費削減と代替工夫の可能性を探る〜」

日時 令和四年十二月三日(土)
開場 午後一時
開演 午後一時三十分

場所 熊本大学医学部キャンパス
会場 熊本大学医学総合研究棟三階講習室

司会 ヒトレトロウイルス学共同研究センター長 松下修三氏

熊本大学大学院生命科学研究部 教授 坂上拓郎氏

参加人数 約一〇〇名

講演① 「なぜ、気候変動対策としてカーボンニュートラル化社会の実現が迫られているのか」

講師 早稲田大学名誉教授、公益財団法人地球環境戦略研究機関シニアフェロー 天野正博氏

講演② 「ゼロカーボン社会・持続可能な未来への第一歩を!」

講師 熊本県環境生活部環境局環境立県推進課 課長 吉澤和宏氏

講演③ 「熊本大学におけるカーボンニュートラルに向けた取り組みと医療分野の展望」

講師 国立大学法人熊本大学 理事・副学長 大谷 順氏

講演④ 「大学院生(薬剤師)が提案する「患者にも環境にも優しい」持続可能な取り組み」

講師 熊本大学大学院薬学教育部医療薬学専攻臨床薬理学分野博士課程三年、薬剤師 難波七海氏

(ラウンドテーブルディスカッション) オーガナイザー 公益財団法人肥後医育振興会 副理事長 山本哲郎氏

パネリスト 講演講師 四名
終了 午後五時

参加人数 約一〇〇名